

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	16ヶ月	クラス	B
科目名:	資料解釈					年次:	1年次
担当者:	山口 祥平 (実務経験あり)	単位:	2単位	授業時間:	30時間		

■授業概要・方法等

資料解釈は教養試験(基礎能力試験)で出題される科目で、表やグラフ等の資料を読み取り、確実な情報を選択肢から選択する科目である。特に公務員の事務職においては、様々な統計データを表やグラフを用いて分かりやすく表現する力が必要となるが、一方で様々な統計データを正確に読み取る力も特に必要である。

本科目では、「実数と割合」、「構成比」、「増加率」、「指数」の4つの単元に分けて、それらがどのような数値であるのか、それらを用いた表やグラフがどのような状況を表しているのかを説明し、正確な情報を読み取る力を身につける。

また、大学の事務職員だった科目担当者が、長崎県の統計資料を用いながら、長崎県の現況について学生の理解を深め、公務員として活躍するための基礎知識を構築する。

■学習・教育目標及び到達目標

高卒程度の公務員試験問題で問われる簡単な表やグラフ等の資料を読み取り、確実な情報を選択肢から選択できるようになる。また、大卒程度の試験問題についても、選択肢を絞り込めるようになる。

■成績評価方法および基準

- ・ 出席状況・・・ 60% ※出席状況は不定期で行うレポートの提出により評価する。
- ・ 確認テスト・・・ 40% ※確認テストの合計点を40点満点に換算する。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

- 『基礎総演習 資料解釈』(本校独自)
- 『初級分野別過去問』(本校独自)
- 『長崎の統計資料に基づく資料解釈』(本校独自)
- 他、試験種別過去問

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【 資料 】

(1～11時間) 時期:4月～6月

『基礎総演習 資料解釈』を用いて、表やグラフ等の読み取り方を理解する。

(12～24時間) 時期:7月～10月

各試験日程に合わせた、過去問演習にて様々な問題の解き方を学ぶ。

(25 時間～) 時期:11 月～3 月

『長崎の統計資料に基づく資料解釈』を用いて、基礎的な考え方を復習するとともに長崎県の現況について理解する。

時 数	内 容
1 ～ 2	1. 実数と割合(2回)
3 ～ 4	2. 構成比(2回)
5 ～ 7	3. 増加率(3回)
8 ～ 10	4. 指数(3回)
11 ～ 11	5. その他(1回)
12 ～ 24	過去問演習
25 ～	長崎の統計資料に基づく資料解釈

■履修にあたっての注意事項

- ・ レポート、確認テストの欠席について
 - …レポート配付時、または確認テスト実施時に欠席していた場合、以下の条件を満たしている場合には、レポートの再配付および確認テストの追受験を認める。
 - ① 事前に学校に連絡があること。
 - ② 欠席の理由が正当な理由として認められること。正当な理由:病気(ただし、病院に行ったことを証明できる場合)、忌引き、受験

■その他

- ・ 『長崎の統計資料に基づく資料解釈』については、長崎県のホームページ上で公開されているデータを用いる。